

# 「第3世代移動通信システム（IMT-2000）の高度化のための 技術的方策の審議について」 ～3.9世代移動通信システムの導入に向けて～

## 1 審議開始の背景

我が国の携帯電話及びPHSは現在1億597万加入に達し（平成20年2月末）、このうち、第3世代移動通信システム（IMT-2000）については、普及率が84.5%となり、第2世代からの移行が着実に進行している。

他方、社会・経済活動の高度化・多様化を背景に、インターネット接続や動画像伝送等、携帯電話を利用したデータ通信利用が拡大傾向にあり、より高速・大容量で利便性の高い移動通信システムの導入に期待が寄せられており、これらの需要に対応すべく、国際的には、3.9世代移動通信システムの標準化作業が最終局面にあり、国内においても、2010年頃の商用化を目指した取組が活発化してきている。

このような背景を踏まえ、国内外の技術の動向及び周波数の一層の有効利用を考慮して、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の高度化システムとなる3.9世代移動通信システムの導入に向け、必要な技術的条件等を検討するものである。

## 2 審議内容

第3世代移動通信システム（IMT-2000）の高度化のための技術的方策

## 3 審議体制

既存の携帯電話等周波数有効利用方策委員会（主査：服部 武 上智大学理工学部教授）において審議を行う。

## 4 答申を予定する時期

平成20年12月頃

## 5 答申が得られたときの行政上の措置

関係省令等の改正に資する。

## 1 検討内容

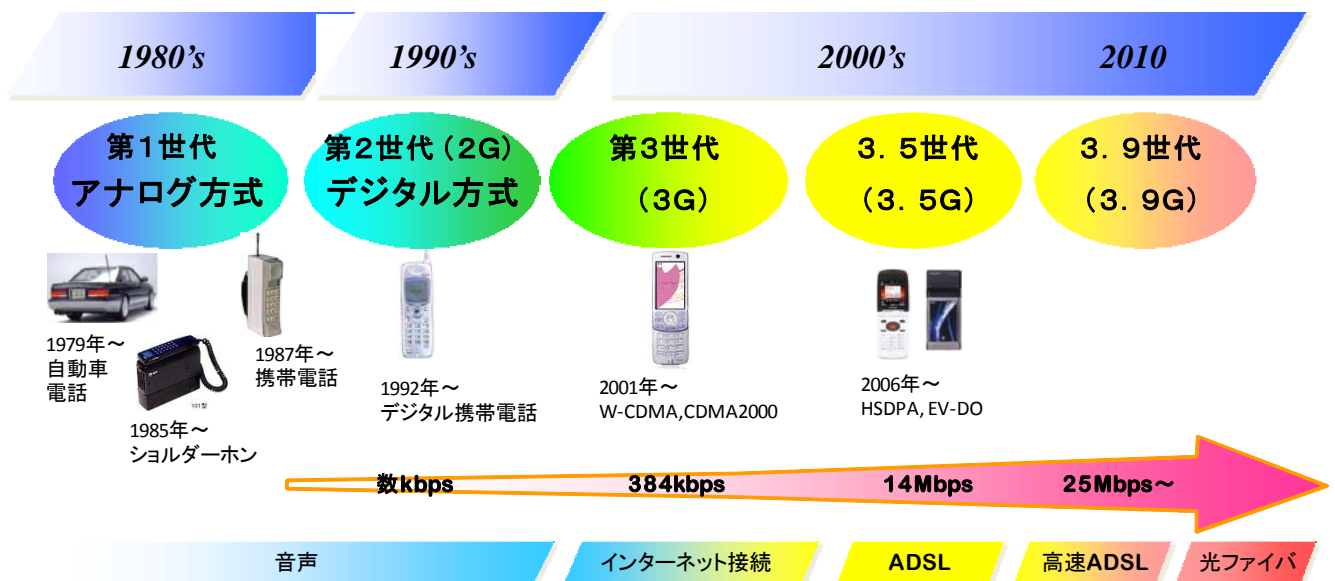
3.9世代移動通信システムの導入に向けて、利用イメージ、国際標準化動向、技術的親和性等を考慮しつつ、調査・検討。

- 基本コンセプト（利用イメージ、システムの機能、干渉条件、送受信間隔等）
- 既存システムとの共用条件、必要な技術的条件及び運用条件
- 将来の第4世代移動通信システムへの円滑な展開に向けた技術的方策

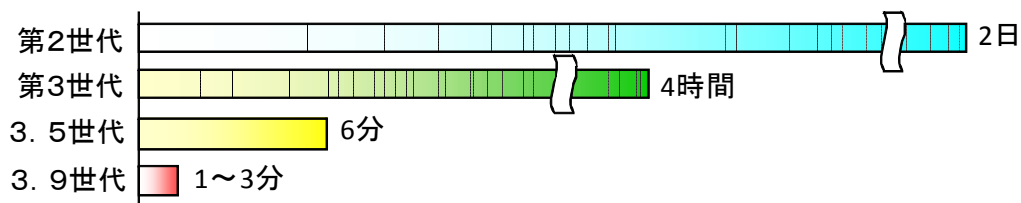
## 2 体制・スケジュール

- 情報通信審議会技術分科会携帯電話等周波数有効利用方策委員会（主査：服部武上智大学教授）で審議。
- 7月を目処に基本コンセプトを整理し、年内を目処に具体的な技術的条件を策定。

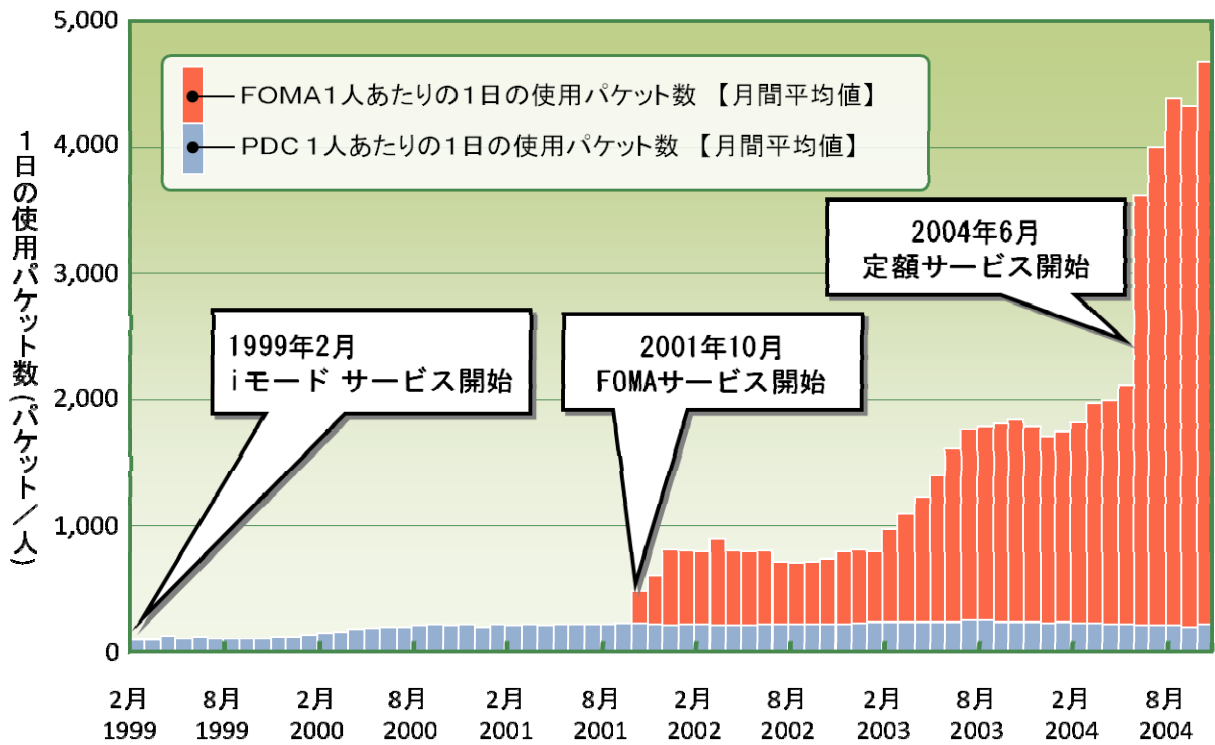
## 3 発展状況



音楽CD（10曲分）のダウンロードに要する時間



【データトラフィックの増加状況 (NTT ドコモの例)】



※ワイヤレスブロードバンド推進研究会 最終報告書(平成17年12月)より